

20021 生活と自然環境 Life and Natural Environment		1 年次～ 前期 2 単位	
担当者	飯田 利明	履修可能学科	E Pe Pc C W F
		関連資格	
サブタイトル	食を通して、人と自然環境の関係を探る		
授業内容 ・ ねらい	<p>わたしたちが生きていくのに必要不可欠な「衣食住」は、すべて回りの自然環境から産み出されている。この授業では、中でも日々欠かせない「食」を中心として考えてみたい。</p> <p>現代のわたしたちは忙しく、目先のことしか見えない現実がある。しかし生活スタイルの過去100年間の変化は、質量共にあまりにも大きく、地域に根ざした伝統的生活スタイルが失われた。そして100年前にはまったく考えられなかったことだが、今ではわたしたちの日々の食卓が世界と繋がっている時代になった。</p> <p>この状況が今後も続くのか。持続可能な生活を実現する鍵は、どこにあるのか。</p> <p>だからこそ変化という時間方向の探索と合わせて、わたしたちの住む世界とここ茨城に軸足を置いて、食と環境の問題を探ってみたい。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 50年前の茨城と日本の食生活 3. 身近なLost World 4. 世界の食料生産の増加と限界 5. 農業保護政策と低価格化 6. 過剰利用と環境汚染 7. 肉食とバイオ燃料 8. 気候変動と食料生産 水と気温 	<ol style="list-style-type: none"> 9. 生産現場では 10. 慣行栽培 農薬の安全性 減農薬栽培「エコファーマー」 11. 有機栽培と「有機農業推進法」 12. 遺伝子組み換え作物の現状 13. 都市を支える食の外部化と大規模流通 14. ファーストフード化と捨てられる「食品」 15. 売り物と食べ物 	
教科書 参考書	授業内容が広く、これ一冊という教科書はないが、授業内容を深めるために、必要な参考書、ホームページ等を紹介したい。		
評価方法	期末のレポートによる。		
事前準備学習 履修条件等	特に無し		